

「ロータリーを学び、実践し、発信しよう: Enjoy Rotary」

RI2650地区ガバナー 中川 基成

「ロータリーを考えよう、語ろう、そして楽しもう」

彦根南ロータリークラブ会長 法村 賢仁



杉本定幸君
2018.4.撮影

本日のプログラム

「花見例会」：彦根キャッスルリゾート & スパ
親睦活動委員会担当

彦根城

江戸時代および1869年(明治2年)の版籍奉還後から1871年(明治4年)の廃藩置県まで彦根藩の役所が置かれ、天守、附櫓及び多聞櫓は国宝、城跡は特別史跡かつ琵琶湖国定公園第1種特別地域です。天守が国宝指定された5城の一つです。(他は犬山城、松本城、姫路城、松江城)。城内の約1,200本の桜が一斉に咲き誇る様子は、まさに息をのむ美しさです。

花見例会を迎えて



会長 法村 賢仁

早いもので今年もあっという間にお花見の季節になりました。

今年は暖冬で、雪もほとんど降らずいつの間にか桜降る暖かい春を迎えてしまいました。

本年度も残すところ後3か月足らずとなりました。

メンバーの皆様のご理解とご協力ご支援のお蔭と深く感謝申し上げます。

本日の花見例会ですが、予約を入れた段階で桜の満開日と予想される日がすべて他の団体に予約をされており、少し早めの本日を例会日として予約させていただきました。

今宵は、本年度のテーマは「ロータリーを考えよう、語ろう、楽しもう」でございます。

美しい桜を楽しみながら、大いに飲み、語らい、親睦の輪を一層深めていただける機会になることを祈念申し上げます。限られた時間ですが有意義なひと時になりますよう、ご協力よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが本日の例会にいろいろと趣向を凝らしていただき楽しい例会にご尽力いただきました松原親睦委員長はじめ、親睦活動委員会の皆様にご感謝申し上げます

インターアクトクラブ例会開催のお知らせ

日時：2019年4月12日(金)15:40～ 場所：ホールさくら

4月 9日プログラム

「彦根城の世界遺産登録に向けて」

彦根市教育委員会 文化財部

彦根城世界遺産登録推進課 鈴木 達也氏

プログラム委員会担当

4月 16日プログラム

近江商人博物館

職場訪問例会

職業奉仕委員会担当

プログラム

開会点鐘

(18:00～)

ロータリーソング

「君が代」

「奉仕の理想」

ゲスト紹介

会長の時間

幹事報告

委員会報告

SAAの時間

ニコニコBOX

出席報告

閉会点鐘

懇親会

(18:30～)

本日のお食事

彦根キャッスル

リゾート&スパさん

前回例会報告



第1941回例会は法村会長の開会点鐘に始まり、ロータリーソング(彦根南ロータリーの歌)を唱和いたしました。

また宮嶋幹事から近江ツーリズムボード主催のフレンドシップコンサートの案内がありました。

その後情報集会の報告が西山君の進行のもと各組よりありました。

1組目は大塚君より昔は100%出席が当たり前だった。メイキャップもせずに休む人の気持ちはどうなんだ?という事でその人の気持ちになり話し合った結果、何とか出席して貰える例会にする努力をしなければならぬと報告されました。

2組目は菊川君より情報集会は飲み会の場ではなく意見交換の場である。ロータリーの価値観は全員が同じ方向を向く事にある。例会は学びの場なので若い人は先輩から色々学んでほしい。そしてロータリーは素晴らしい権利を貰う代わりに義務を果たす必要が有るといふ報告がありました。

3組目は田川君より彦根南ロータリーは年齢差が大きいのので幅広い意見が聞ける。またメンバーが何の仕事をしているのかもっと知りたいので発表の場が欲しい。まとめとして先ずは例会に行くのが当たり前という雰囲気を作るのが大事と報告がありました。

4組目は片岡君より彦根南ロータリーは多様性、独自性をもって活動するべき。クラブ同好会ももっと増やして多くの方に活動してほしい。そして彦根南ロータリーはガバナー候補を作る努力もしなければならないと報告がありました。

5組目は村上君よりこの10年で大きく変わった、その一つが出席率の低下である。彦根南ロータリーは青少年育成にもっと力を入れ、マイロータリーにももっと登録したいと報告がありました。

6組目は小倉君より出席率を高める為にロータリーの例会の趣向を変えてはどうかという意見がありました。そもそも出席は義務なのか?権利なのか?一度出席は権利と考えてみてはどうかという報告がありました。

7組目は宮嶋君よりロータリーで大事な事は、品位・緊張感・ルール・E S S・出席の5つである。そして出席も仕事も大事であるという報告がありました。

多くの意見が飛び交い、各組ともにとても有意義な情報集会だった様です。



ニコニコ箱 計36,000円 総計2,131,000円

- ◇情報集会の報告宜しくお願い致します…法村君・西山君
- ◇情報集会御苦勞様でした…橋川君
- ◇結婚記念日自祝…松岡君
- ◇創立創業記念日自祝…渡邊君
- ◇皆出席自祝。がんばりました…西澤君
- ◇皆出席自祝…菊川君・大菅君・田川君・諸川君
- ◇4/3 PM8:00よりNHKBSプレミアムで「英雄たちの選択」で、当家が放映される予定です。是非見て下さい。SAAのお許しを得てお先に失礼します…西村君
- ◇妻の誕生日自祝。お先に失礼します…山田(圭)君

地区職業奉仕「講演会」開催



奉仕プロジェクト委員会
担当理事 安田 勉

3月24日(日)13:00より、京都テレサホールにて第2650地区職業奉仕講演会が開催され、法村会長はじめ、6名が参加しました。

本講演会は、日本のロータリー次なる100年に向け「ロータリーの希望、職業奉仕の可能性」と題して、中川ガバナーの挨拶より始まり3部構成でプログラムが進行されました。

第1部では、「今、ロータリーを問い直す」というテーマで、講師：松宮 剛パストガバナー(元RI理事、愛知川出身で当クラブ35周年の来賓)が講演されました。主な内容は、ロータリーの歴史に見る職業奉仕の変遷の説明、続いて会員の固有の事業や専門職種の代表であり、相互扶助(親睦)のもとロータリアン同志の取引は、ロータリーの付随的要素であり、信用と友情の結果であり、奉仕の結果である。又、職業人としての進化の機会を(利益)とし、奉仕理念と利益を調和させる努力が職業奉仕につながるというお話でした。

第2部では「ロータリーの根幹は、「奉仕の理念」です」のテーマで、講師：本田博己パストガバナー(日本のロータリー100周年ビジョン策定委員会)が講演され主な内容は、私たち日本のロータリアンの多くは、「職業奉仕」をロータリーの根幹・金看板と捉えているが、世界のロータリーでは自分の職業上のスキルを生かした奉仕活動は、個人であれクラブであれすべて立派な「職業奉仕」の活動として活発に実践されている、と話されました。

第3部では、両講師と中川ガバナーが鼎談され、本講演会の大きなテーマについて活発な意見を交換されました。

最後に、私たちロータリアン個人としてまたロータリークラブとして「職業奉仕」をどのように考え、取り組んでいくべきか、について共に再考する良い機会でした。



3/29(金)彦根RCとの合同ゴルフコンペ開催



例会出席報告

	会員数	当日出席	メイキャップ	出席率
3月26日	67(8)	48(2)	1	79.03%
3月12日	67(8)	47(4)	13	93.65%

【ソングリーダー】 ◎森野 隆 川地友規 青池貴司 諸川 穰 西本智彦

【会報雑誌委員会】 委員長：川地友規 副委員長 中川寛之 野村郁雄 木村泰造 杉本定幸 梅本正和 青池貴司